

角田あぶくまエコフォーラム（2006年活動開始）

活動内容：

3回/年の定例会を各社持ち回りで展開し、自社の環境への取り組み事例を持ち帰り情報交換によって環境負荷低減の活動に繋がっています。また、地域の環境活動に積極的に参加し、地域社会への貢献を行っております。



5社にて
環境活動を実施致します。



■角田工場概要

敷地面積：360,612m²（東京ドーム約8個分）

従業員数：1,135名（2025年1月現在）

製造品目：パックご飯、餅、α化米、マスク、ウェットティッシュ

角田工場での製造品目



ISO14001認証取得



福利厚生施設（スポーツセンター）



福利厚生施設（サッカー場）



福利厚生施設（セブンイレブン）





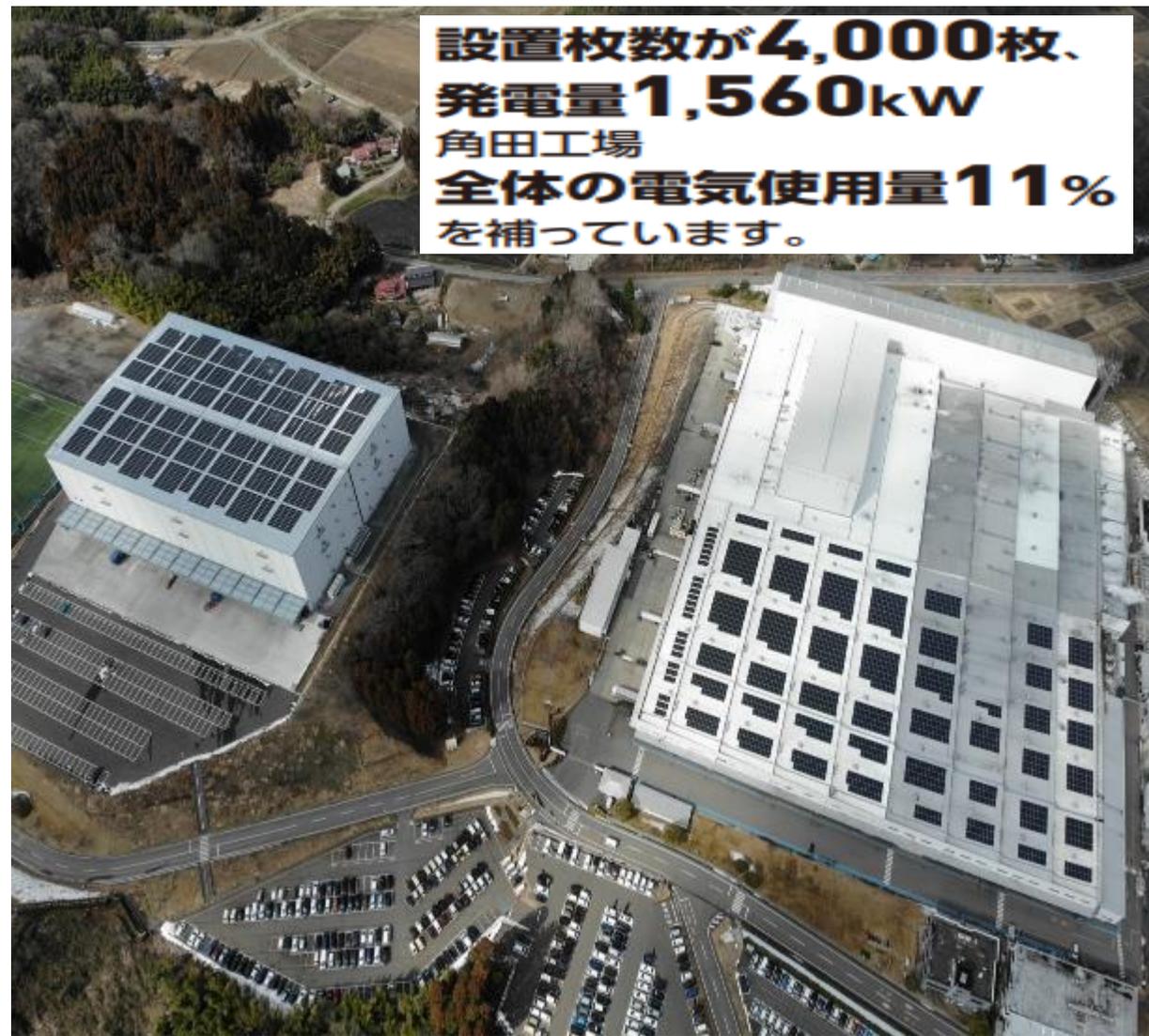
■工場周辺清掃活動（3回/年） 参加者：30名



■阿武隈川清掃（1回/年） 参加者：30名



■太陽光パネル設置（2024年2月～）



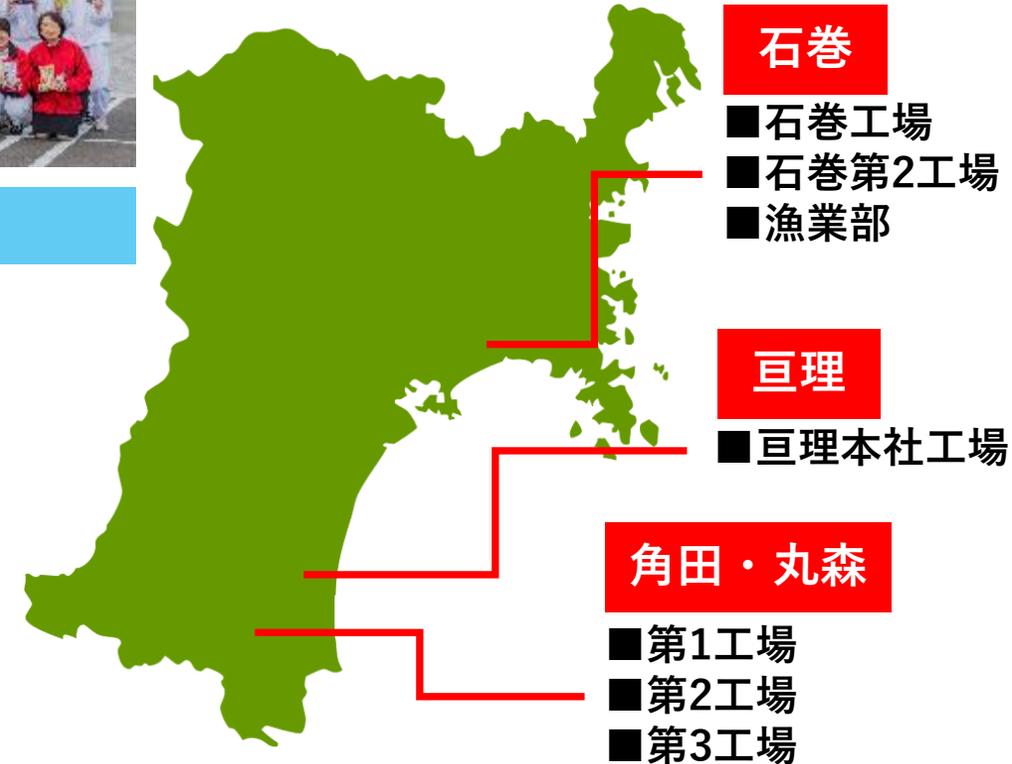
日々の食卓を彩るユニークな商品を製造する食品メーカーです。
社会貢献・環境負荷を低減するための取り組みを継続的に行っています。

設立
代表取締役社長
業種

2009年5月
後藤 浩一
食品製造業



県内6カ所の工場で、ラインナップ豊かな商品を製造しています。

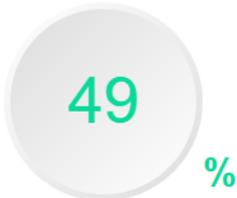


アンモニア冷媒の使用

地球温暖化リスクが低い冷媒を使用し、CO₂排出量を削減しています。



期待できる年間CO₂排出削減量



NewTon採用

自然冷媒

	地球温暖化係数 (GWP)	2030年に向けて
アンモニア (NH ₃)	1未満	自然冷媒機器の普及拡大
二酸化炭素 (CO ₂)	1	自然冷媒機器の普及拡大

太陽光パネル設置

新工場の屋根に、太陽光パネルを設置し使用電力のうち、年間平均17%を賄っています。



宮城製粉(株)環境改善活動

阿武隈川清掃美化運動・各工場周辺 清掃美化運動

阿武隈川清掃美化運動への参加(昨年度45名参加)
各工場周辺 清掃美化運動(昨年度88名参加)



➤ 事業内容

部門別	主要な事業内容
火災報知設備 保守	火災報知設備の製造、販売及び施工 防災設備に係る保守点検及び整備工事
消火設備	消火設備の製造、販売及び施工
防犯設備	防犯機器の製造、販売及び施工ならびに保守管理

安全・安心をグローバルに提供

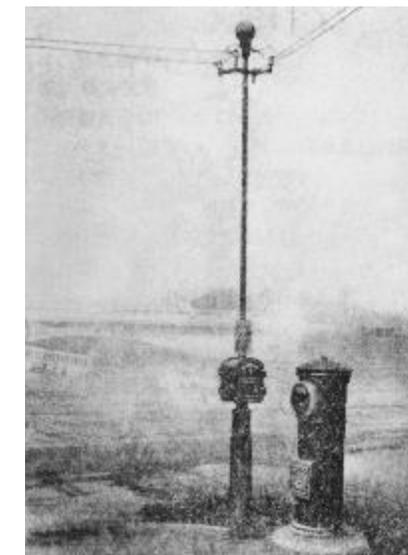
ホーチキ株式会社は、世の中から火災による災害がなくなることを願って、我が国で最初の火災報知機メーカーとして1918年に創立、「人々に安全を」「社会に価値を」「企業をとりまく人々に幸福を」を経営理念として、グローバルに事業を展開しております。

➤ 宮城事業所

所在：宮城県角田市（1969年に建設・操業開始）
宮城工場と、研究開発棟の総合防災実験場を併設
感知器・消火設備の研究開発 感知器など大量生産工場として操業しています。

以下の「環境方針」を策定し、環境負荷低減に努めています。

- 1.総合防災機器の開発・生産・サービスの活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物削減などの環境負荷低減を行います。
- 2.循環型社会の形成に貢献すると共に、継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
- 3.環境に関する法律・規制・協定を順守し、必要に応じて自主基準を定め運用します。
- 4.環境目的及び目標を設定し、従業員に環境関連情報を周知すると共に、定期的に監査・見直しを行い、環境保全活動の維持向上を図ります。
- 5.環境方針を公開し、環境保全活動を通して、近隣地域並びに社会に貢献します。

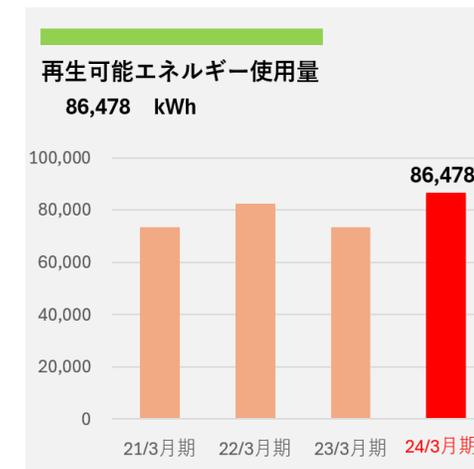


日本では最初の火災報知機を設置



▶ SDGs への取組み（再生可能エネルギーによる省資源化）

風力発電及び太陽光発電施設で発電した電力を生産エネルギーとして利用し、温暖化物質の排出低減に努めています。



▶ 地域社会への貢献（ボランティア活動）

1) 公益財団法人オイスカによる「名取市海岸林再生プロジェクト」に賛同し、ボランティアとして参加。東日本大震災で壊滅的な打撃を受けた名取市の海岸林の再生のため、植林及び育林を行う。



名取市海岸林再生プロジェクト

2) 事業所周辺の清掃活動を年2回実施。



地域清掃活動



日幸電機株式会社

当社は電気機器・設備の設計・製造において、環境管理活動や地域貢献活動を通じて社会貢献することを最優先課題の一つとしており、2022年4月から再生可能エネルギー100%電力での生産や地域小学校の工場見学の受け入れなどの活動を行っております。

● 環境管理活動

2007年3月より本社工場の屋根に太陽光発電システムを設置、
さらに2022年4月1日より本社・亘理工場で使用する電力は
100%再エネ電気(RE100)を採用



● 地域貢献活動

地元小学校の工場見学受け入れ



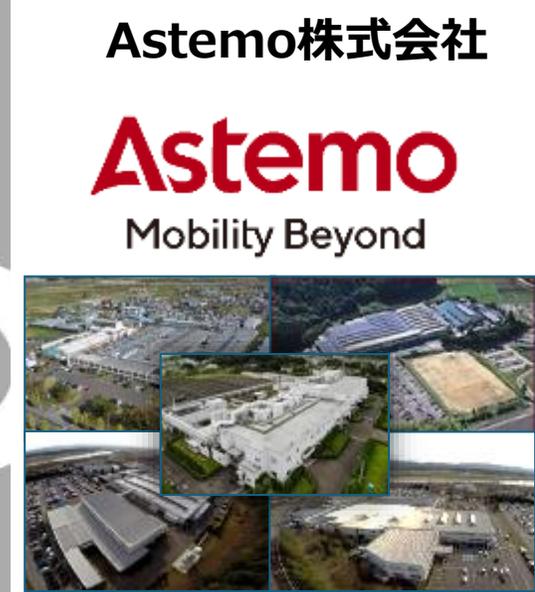
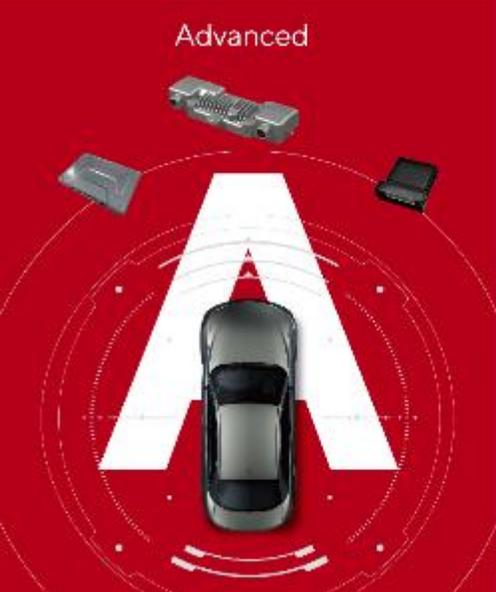
会社駐車場を近隣自治会やスポーツ団体のイベントに開放

エコキャップ運動

アイシティ ecoプロジェクト など



使い捨てレンズ空ケース
回収にご協力ください!



Astemo ロゴ

Astemo

『先進的かつ持続可能な社会に貢献する技術を通じて、安全・快適で持続可能なモビリティライフを提供する』との企業の意志を明確に表現するため、「Advanced Sustainable Technologies for Mobility」の頭文字を繋げてAstemo(アステモ)としました。

コーポレートスローガンロゴ

Astemo

Mobility Beyond

コーポレートスローガンロゴは、持続可能な社会・人々の豊かな暮らしの実現に貢献するため、技術の限界や一人ひとりが己の限界に挑戦するとともに、あらゆる境界(国・文化・業界・組織・障壁など)を越えて/超えて、私たちの技術・製品を通じた先進的なモビリティソリューションを世界中の人々に届け、一人ひとりの「自由」を実現していきたい、という想いを込め制定されました。

MISSION

私たちは、世界をリードする先進的なモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な社会と人々の豊かな生活の実現に貢献します



プロダクトブランド

- Astemo
- KEIHIN
- SHOWA
- NISIN
- TOKICO
- HÜCO®
- KIT PLUS

詳細はWebサイト



Environment



■ 太陽光発電の導入

- ・ 2025年度より宮城第二工場において大規模太陽光発電システムが稼働します。
- ・ 2028年度の稼働を目指し宮城第四工場においても太陽光発電システムを計画中

【宮城第二工場 太陽光年間総発電量】

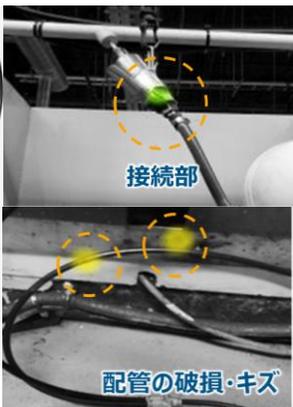
514 Mwh/年

【CO2削減量】

272ton/年



※FLIR社製 音響カメラ



※漏れ箇所を可視化

■ 工場動力効率改善(エネルギーロス削減)

- ・ 工場の動力で使用する圧搾空気の供給経路上における漏れは、圧力を発生するコンプレッサの稼働と連動してしまう為

無駄なエネルギー(電力)を消費します。漏れ箇所の特定は非常に困難ですが弊社は特殊音響カメラを導入する事で漏れ箇所を可視化し、点検/修繕を行う事で大幅なエネルギーロス削減を達成しました。

【宮城5拠点24年度削減効果実績】

- ・ 電力：5,416.5Mwh/年 削減
- ・ Co2排出換算：1,627.9ton/年 削減
- ・ 電力コスト換算：76百万/年 削減

Corporate Social Responsibility



■ 地域貢献活動

- ・ 丸森町観光振興公社様主催 阿武隈川清掃美化運動への参加【参加実績】

24年3月：77名エントリー

25年3月：80名エントリー

■ 環境・生物多様性/生態系保全活動（地域クリーンアップ活動）

【活動実績】年6回実施（5月、7月、9月、11月、1月、3月）



詳細は
Webサイト
^ v

